

■中国：上海市、世界最大規模のごみ発電施設が運開

2019年7月5日付の電力関係紙によると、上海市のゴミ処理センターである老港再生エネルギーセンターの第2期プロジェクト（処理能力6,000t/日）のプラントが6月28日に運開した。発電能力は15万kW（5万kW×3機）。第1期プロジェクトと合わせると、上海市の年間ごみ排出量の3割以上（約300万t）の処理能力を持つ、世界最大規模のごみ発電施設となっている。なお、上海市は7月1日付で、ごみをリサイクルごみ、台所ごみ、有害廃棄物、残渣の4種に分別することやこれを順守しない場合、最高で個人に200元（約3,200円）、事業者には5万元（約80万円）の罰金が科される内容の「生活ごみ管理条例」を施行している。